

会議録（１）

会議の名称	第13回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	令和2年12月25日（金） 開会 午前10時 閉会 午前11時40分
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館2階 会議室1・2・3
会長氏名	飯能市副市長 上 良二
出席委員	吉田 樹、堀米 康史、鶴岡 洋、松原 緑、山本 道夫、 和田 毅、本橋 実、加藤 恵司、渡辺 正幸、石井 英子、 細田 幸二、宗口 義克、古島 照夫、浅見 国昭、双木 和宏、 松本みどり、渋谷 秀一、新井洋一郎、町田 守弘、平野 功 (中村委員代理：堀内 篤浩)、(関根委員代理：宮迫 智昭)、 (小川委員代理：青木 宏之)
欠席委員	齊原 潤、榎本 聡、浅見 浩士、粕谷 平蔵、大野 康
説明者の職氏名	飯能市市民生活部長 大野 充 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主幹 森田 宜洋 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝
傍聴者の数	0名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	飯能市市民生活部長 大野 充 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主幹 森田 宜洋 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

1 開 会

本協議会の第13回目の開催にあたり、事務局長から開会が宣せられたのち、以下のとおり報告等をした。

- ・会長挨拶 : 会長（上副市長）から開会に際し、挨拶をした。
- ・欠席委員等の報告 : 事務局長から報告をした。

2 会長あいさつ

3 議 事

事務局から資料に基づき説明した。また、議事関係者として、運行事業者である西武ハイヤー(株)の担当者1名が入室した。

(1) 精明地区及び加治地区の新しい移動手段の実証運行（案）について

①地域住民との検討経過について

②分科会（路線バス事業者）及び埼玉運輸支局との打合せ結果について

③飯能市乗合ワゴン実証運行要領（案）について

- ・地域住民との検討方法及び結果について <<資料1>>
- ・みんなで考えようおでかけの足通信 第3号 <<別紙資料>>
- ・地域からの意見のまとめと検討状況 <<参考1>>
- ・運行形態の見直し経過 <<参考2>>
- ・飯能市乗合ワゴン実証運行要領（案） <<資料2>>
- ・ルート・停留所（案） <<資料2-1>>
- ・時刻表（案） <<資料2-2>>
- ・運賃設定について <<資料2-3>>
- ・運賃の割引制度（案）について <<資料2-4>>
- ・車両の仕様 <<資料2-5>>
- ・飯能市乗合ワゴン運行事業 資料一式 <<資料2-6>>

⇒内容について了承され、本協議会で協議が調ったものとして国土交通省に道路運送法上の許可申請をすることとして決定した。

④今後のスケジュールについて

- ・今後のスケジュール <<資料3>>
- ・スケジュール表 <<資料3-1>>

⇒内容について了承された。

(2) その他（議事内）

以下について事務局から報告した。

- ・ 飯能リハビリ館送迎者の空席を活用した住民移送事業 事業報告書 ≪資料4≫
- ・ 2020 はんのう・ひだかノーマイカーデー 実施報告書（中間） ≪資料5≫

また、バス事業者及び飯能市タクシー協議会から近況報告が行われた。

- ・ 国土交通省プレスリリース ≪当日資料≫
「バス・タクシーは引き続き厳しい経営環境に置かれています」

4 その他

- ・ 次回協議会について連絡

5 閉 会

会議録（3）

発言者	発 言 内 容
	(開会)
事務局長	それでは、次第に沿いまして協議会を進めさせていただきます。はじめに、協議会の会長であります上副市長からご挨拶を申し上げます。会長、よろしくお願いいたします。
会長	(挨拶)
事務局長	(欠席委員等の報告) (協議会公開の旨報告) (傍聴人報告、0人)
事務局長	それでは、議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、協議会開催要綱第5条により、本協議会の会長であります上会長にお願いいたします。会長、よろしくお願いいたします。
会長	それでは、議事を進めさせていただきます。議事(1)「精明地区及び加治地区の新しい移動手段の実証運行(案)について」を議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。
事務局	本議題の説明に入る前に、前回の協議会後に運行事業者の募集を行い、本事業の運行事業者として決定した西武ハイヤー株式会社様へ、本協議会にご出席いただくことに関して、ご了承いただきたいと存じます。
会長	運行事業者として決定した西武ハイヤー株式会社様のご出席を求める発言がございました。皆様、ご了承いただいてもよろしいでしょうか。
委員	(異議なし、の声あり)
会長	それでは、西武ハイヤー株式会社様には関連する議事の間、ご出席をお願いいたします。

	(西武ハイヤー株式会社 入室)
会長	<p>それでは改めまして、議事（１）「精明地区及び加治地区の新しい移動手段の実証運行（案）について」を議題とさせていただきます。事務局から次第①～③の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>・資料に基づき説明</p>
会長	<p>ただいま事務局から精明地区及び加治地区の新しい移動手段の実証運行（案）についての説明がありました。本日は資料２で説明がありました実証運行要領（案）のとおり実証運行を行うことにつきまして、皆様からのご意見を伺いたいと思います。その前に、本協議会において乗合交通の導入についてご議論いただくのは初めてのこととなりますので、本事業の内容や注意点などについて、まずは吉田先生からご意見を頂戴できますでしょうか。</p>
委員	<p>前回の協議会において、当該地区をワゴン車できめ細やかな運行をしつつ、あるいはもともとの総合福祉センターバスからの後継として運行してみようということで一致したことかと思う。その一方で、具体的にどう走らせるか、運賃設定をどうするかについて、地域の皆様と対話をしながら事務局で思案されたと伺っている。私自身も分科会等において、事務局の皆さんと議論させていただいたという経緯がある。</p> <p>補足になるが、資料２－３の「３ 運賃水準のシミュレーション」について、国庫補助金については本格運行から申請する可能性があるとの認識である。また、「経常収入２０％」と表記があり、目安となる経常経費から考えると１００万円少しの経常収入があれば２０％に達する。この２０％というラインについては、差し当たりの基準としてとらえることができる。その中で、今回運賃については２００円という数字が出てきたわけだが、総合福祉センターバスの利用状況を踏まえると、この２０％が達成できるという目論見であると考えている。もっとも、今回市内において初めて走らせるものであり、２～３年で徐々に浸透していくこともあるので、当初の実証実験の期間中で１日４０人の利用に届くかどうかはわからない。ただ、今回、広報紙にてお試し乗車券を配布し、属性などを把握しながら、だいたいこのくらいの人数に使ってもらえるのではという点も目論めるかたちとなっている。</p> <p>一方で、経常収入は運賃だけで稼ぐ必要はなく、全国的に見るとバス停など</p>

	<p>の広告から収入を得ているところもある。微々たるものかもしれないが、もともと限られた方が利用されるものなので、意外と重要な収入源である。また、地域の皆さんとの対話の中でそうした取組を地域の中でできるかどうかを併せて考えていくこともできる。そのため、今回は高齢者割引や一日乗車券を設けず、運賃を1回200円に設定してどのくらいの収入を得られるかを分かりやすく考えられるようにした上で、乗り慣れていただくために、または様々なご意見をいただくために、広報紙にお試し乗車券をつけて様々な方に利用していただけるようなかたちに行っていると理解している。もちろん、今後協議会や地域の皆さんとの対話の中で、具体的にどうすれば良いかを運行させながら考えていくことも必要である。そのため短い期間の実証運行であると対話が難しいということもあるので、実証運行期間を長くしたいと事務局から提案されていると思われる。内容自体は、事務局と対話をしながら進めてきましたので私自身は異論はないが、皆さまからお気づきの点をお寄せいただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、皆様からご意見、ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>実際にはまだ走っていないので、どのような状況になるか分からないが、定員が埋まるように地域で努力していきたい。運賃等の課題もあるが、次の段階では増便ができるようなかたちに持っていきたい。1点質問で、車椅子利用者の対応について説明があったが、後続便については補助金の中で賄えるのか、新たに経費がかかってくるのか。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。事務局から答弁をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>後続便についての予算は、経常経費550万円の中には入っていない。現在、来年度の予算として一般会計で計上しているものになる。</p>
<p>会長</p>	<p>答弁は以上ですが、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>交通空白地域についての問題については、議会でも大きな議論がある。本日</p>

	<p>第一歩を踏み出す形となる。これを成功させるためには、私どもも一生懸命取り組むが、地域の皆様の協力が何より大事であると思うので、引き続き自治会の皆様、各種団体の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>運行をする立場から心配なのが、フリー乗降であると一般ドライバーとのトラブルが懸念される。運行事業者の負担が大きくなってしまいが、トラブル等の対応窓口はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>今回はフリー乗降ではなく、フリー「降車」という形で実証する。フリー乗降のご要望も多かったが、乗るところもどこでも良いとなると、運行事業者の負担が大きくなるほか、利用者の見逃しが発生してしまうことが考えられるため、フリー降車ということで対応する。警察から指摘があった国道 299 号のような大きな道路などではフリー降車はできないようにしている。乗る場所は資料にある停留所のみであり、降車については安全な場所で降車できるように配慮している。</p> <p>また、苦情やトラブルが起きたときの対応は、市と運行事業者が協定を締結し、運行事業者が対応することになっている。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>補足であるが、このような運行をする際にトラブルを少なくするために、乗車時にあらかじめどこで降車するかを地図で見せながら聞くことができる。顔なじみになると省略されるケースもあるが、そういう運用にすることでトラブルを少なくすることができる。来年 3 月で終了となるが、横瀬町の「ブコーさん号」は乗降ともフリーで行っている経緯もあり、そういうノウハウも踏まえられると円滑な運用ができると思う。</p>
会長	<p>様々なケースが考えうるので、事務局と西武ハイヤー株式会社がしっかりと</p>

	<p>コミュニケーションを取りながら問題がないようにお願いいたします。</p>
会長	<p>他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本議題に関しては、皆様から頂戴した意見を踏まえまして、本協議会において協議が調ったものとしまして、運行事業者の西武ハイヤー株式会社様から埼玉運輸支局に実証運行開始の申請をすることとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし、の声あり)</p>
会長	<p>ありがとうございます。手続を進めさせていただきます。</p>
会長	<p>続いて、事務局から④「今後のスケジュール」の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>・資料に基づき説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、皆様からご意見、ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>書類の修正に関して、埼玉運輸支局を経由して提出することになるが、申請先は関東運輸局になる。そのため、資料3内の1(1)、2(3)、資料3-1の書類を修正されたい。</p>
会長	<p>ありがとうございます。書類について修正をお願いいたします。</p> <p>他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ご了承いただいたということで、スケジュールのとおり進めさせていただきます。</p> <p>それでは、関連する議事が終了いたしましたので、西武ハイヤー株式会社様にはご退席いただきます。ありがとうございました。</p> <p>(西武ハイヤー株式会社 退室)</p>
会長	<p>それでは、議事(2)「その他」を議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。</p>

事務局	・資料に基づき説明
会長	ありがとうございました。それでは、皆様からご意見、ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。
委員	資料4の写真に介助されている方が写っているが、運転者の他に介助員が乗車しているということか。また、ノーマイカーデーについて、コロナ禍でマイカーで通勤する傾向があると思われるが、参加事業者の増減についてお聞かせ願いたい。
事務局	飯能リハビリ館による移送サービスについては、当初は運転手のみでの対応の予定であったが、高齢者の利用が多いことから介助員も乗車しているということに伺っている。また、ノーマイカーデーについては、本年度はコロナ禍ということもあり、昨年度実施した企業の中でも実施が難しいところがあった。今回ご参加いただいた企業は、社会貢献、環境配慮という観点から率先して手を挙げていただいているところもある。今年度は参加者の増加はしなかったが、継続して実施していくことが重要と考えている。
会長	飯能リハビリ館の地元である本橋委員からご意見をいただけますでしょうか。
委員	今回の取組は地元で非常に注目を集めている。登録者数の39名については驚くべき数字である。実際の利用者数は1日5.4人で多いかどうかは判断つかないが、まあまあな印象である。通常状態に戻れば利用者が多くなるのではないかと思う。市街地との往復がメインと考えていたが、意外と地元での需要がある。このような交通サービスは山間部での地域活性化の一助にもなりうるかと期待している。飯能リハビリ館がどう判断するか気になるところであるが、是非とも継続していただいて、増便や路線新設も考えていただけると地域としてはありがたい。
会長	ありがとうございました。引き続きご指導のほどよろしく願いいたします。他にございますでしょうか。

委員	<p>利用者の中には自分では乗り降りできず、介助が必要な方も乗車されると感じられる。</p>
会長	<p>ありがとうございます。地域の実情について、ご意見、ご要望等がございましたら事務局までよろしく願いいたします。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>飯能リハビリ館送迎車の相乗りについては、お互いに無理なく、安全に運行できるかということが重要であるかと思われる。そのため、利用者数の多い少ないということはあまり大きな問題ではなく、ゼロであればさみしいが、まずまず使ってもらえている状況である。飯能リハビリ館の送迎も負担が大きくなったことはおそらくないと思われるため、良い滑り出しだったのではないかと考える。</p> <p>一方で、移動の際の目的地についてはとても大事な話であり、それがノーマイカーデーに繋がってくる。ノーマイカーデーは飯能市においても通勤客をターゲットにした取組として続けてきたわけだが、おそらく目的地が少なくなっている中で、通勤はまだ目的としてあり、リモートも少ない現状がある。たしかに、事業者としては通勤が減って路線維持に困っている一方で、昼間の減り方はもっときついかもしれないという仮説を持っている。昼間の生活交通を支える需要が非常に厳しくなる中で、朝晩はそれなりの需要があるとなると、交通事業者としては今まで以上に路線を維持していくことが難しくなることが想定される。そのため、今まで飯能市で取り組んできた目的や楽しみと合わせ技にした取組について、コロナの状況を伺いつつ、火を消さずに続けていく必要がある。その文脈でのノーマイカーデーのような取組が展開できると良いと思う。</p>
会長	<p>様々な取組の中で分析をしっかりとしながら、今後も継続していかなければならない。引き続きご指導をよろしくお願いいたします。他にございますでしょうか。</p>
会長	<p>ないようでございますので、次に移ります。現在、新型コロナウイルス感染症の第三波の中ではあるが、運行事業に関する現状に関しましてご発言いただきたいと存じます。</p>

委員	<p>弊社については、新型コロナウイルス感染症の第三波の中で利用者について対前年比で3～4割の収入減という厳しい状況にある。</p>
会長	<p>ありがとうございました。西武バス株式会社様、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>国土交通省のプレスリリースにある路線バスの輸送人員の月別推移に準ずるか、それを下回るような推移を記録している。現状については、朝と夕方については通勤・通学があるため、ある程度維持しているが、昼と21時以降の利用者が大幅に落ち込んでいる。弊社では路線バスを維持させるために経費削減やバスの運行本数の見直し等を行っている。ご迷惑をおかけすることもあるかと思われるが、ご理解、ご協力をお願いしたい。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、イーグルバス株式会社様、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>国際興業様、西武バス様のご報告と似たような状況にある。また、前回協議会でも御報告をさせていただいたとおり一時感染が落ち着いたが、第三波で厳しい状況となっている。そうした中で、弊社路線ではメツァがあり、冬のイベントを開催している。利用者の集中する状況が見られるが、密を避ける観点から3社で協力して続行便を運行して対応している。市民、利用者が安心して利用できる取組をさせていただいている。厳しい状況の中、行政、利用者の協力を頂きながら運行を継続していきたいと考えているので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、飯能市タクシー協議会様、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>バス事業者からもあったとおり、夜間利用の落ち込み等により、経営も厳しい状況にある。一時期良くなったが、このところ利用が落ちてきている。</p>
会長	<p>ありがとうございました。これらのことに関して皆さまからご意見、ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。</p>

委員	<p>・資料「国土交通省プレスリリース」に基づき説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、他の委員様から何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>私自身、日常的にバスを利用しているが、見る限り昼間は名栗方面へのバス利用者は極めて少ない。土日でハイカーで満員になることはあるものの、ほぼ通勤者が使うのみという状況である。また、サークル活動の観点からは休会などにより人が動かなくなっている状況がある。地域では移動販売車を多く見かけ、企業も何か手を打たないといけない中であるが、バス路線の維持からすると難しい状況であると感じている。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
会長	<p>では、私の方から市の現状についてお話をさせていただきたい。飯能市はコロナ禍において大変な状況にある一方で、あらためて今まで頂かなかったような高い評価を得ており、コロナ後の状況を見て様々な動きがあることも事実である。特に不動産関連の方面から興味を持っているというお話があり、75%の森林を有する山間地域においても東京の方々を呼び込むような仕掛け作りに取り組んでいる。現在、来年度予算の編成中であり、年明けには国から第三次補正の方針が出ると思われる。各交通事業者の現状については、現在非常に厳しい状況であることは事務局からも伺っているが、市と交通事業者がしっかりとした関係を保ったうえで、私たちもできることはやっていきますので、何とか踏ん張っていただきたい。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>また、コロナ禍においても新しい移動手段が整うような状況になってきており、これを維持・発展させるためにも皆様のご協力が不可欠であるので、引き続きご指導をよろしく願いいたします。</p>
事務局長	<p>皆様、活発な意見交換ありがとうございました。4その他については、事務局から次回の協議会についてご連絡いたします。</p>

事務局	次回の協議会は、精明地区及び加治地区の新しい移動手段に関する件で、来年6月上旬に開催を予定しています。それまでの間に急きょ協議会を開催する場合は、改めて通知する。
事務局長	それでは以上をもちまして、第13回飯能市地域公共交通対策協議会を閉会とさせていただきます。長時間にわたるご議論、ありがとうございました。 (閉会)